2021年度 異分野ラボビジット　受け入れ協力要請概要

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の形成を推進する文部科学省の事業です。北海道大学では「物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム」（以下、「本プログラム」という。）が平成25年度より複合領域型（物質）に採択され、物質複合領域のリーダー育成を行うことになりました。令和2年 3 月に文部科学省の補助金事業としての補助期間は終了しましたが、北大の事業として継続して活動しています。本プログラムの重要な活動の一つとして、毎年度新たに採用されたプログラム生（修士1年）を対象に「異分野ラボビジット」を実施いたします。プログラム生から受入れの打診がありましたら、以下を参考に受入れの可否につきましてご検討をよろしくお願い申し上げます。

【異分野ラボビジットについて】

本年度採用プログラム生の幅広い知識と考え方を身につける教育の一環として、異分野の研究室にて新しい専門的知識や技術を習得するために「異分野ラボビジット」を行います。プログラム生は約２週間～２ヶ月程度、異なる分野の研究室に移籍し、移籍先研究室が提供する教育研究内容（基礎的な技術の提供ではなく、専門的な研究内容）を実施します。異分野ラボビジットの終了後、プログラム生は報告書の提出義務があります。また、異分野ラボビジットで行われた研究の内容がQE1課題と関連します。移籍研究室の決定は、プログラム生による研究室訪問（10月初旬の予定：研究テーマの相談等）を設けたのち行います。一研究室に複数名のプログラム生が移籍しないように事務局で調整いたします（受入可能であれば一研究室に２名まで）。

【受け入れにあたってのお願い】

下記の１～３を全て満たす研究室。

１．リーディング生の受入にあたり、物質複合領域のリーダー育成を目的として、プログラム生を責任もってご指導をお願いいたします。

２．本プログラムの「異分野ラボビジット」について理解し、プログラム生とのコミュニケーションを密にした指導をお願いいたします。

【支援内容】

１．「異分野ラボビジット」に関する教育研究を支援するため、プログラム生を受け入れた研究室に実験費用（新型コロナウイルス感染予防対策費用含む）として一研究室あたり10万円を上限として助成させて頂きます（2名受入の場合は倍額となります）。

２．本経費で購入できるのは少額備品と消耗品のみです。その他の費目（国内外旅費・謝金・学会参加登録費・校正や翻訳、機器利用料等の委託費）での執行は一切できません。

３．経費全体での残額処理がありますので、物品購入（納品日）は2022年2月末日までとさせて頂きます。

４．本予算の性質上、配分額以上に使い過ぎた場合の振替等の措置を講じることが出来ません。予算執行に際しましては、過不足なく残額0 円にして頂きますよう、くれぐれもご注意をお願い致します。0円にあわせられない場合は一般運営財源（**教育経費**）に限り経費の合算使用が可能です。その場合は予め事務局にご相談下さい。

５．プログラム生を受け入れた研究室に限り、一研究室あたり、修士課程あるは博士後期課程学生のRA経費を10万円上限として助成させて頂きます（2名受入の場合は倍額となります）。業務内容は「異分野ラボビジット」の準備、実験補助、実験に関する相談、報告書作成協力などの研究補助です。また、本プログラムのイベントへの参加もお願いいたします。RA採用申込に関してはプログラム生の受け入れが決定した後、別途案内いたします。以前のアンケートで、「RA学生の協力がなかった」というような意見もありますので、RA学生の選考には考慮ください。また、RA経費を実験経費に流用することはできません。

【注意事項】

　プログラム生を実験に従事させるに当たり、必要な導入教育・安全教育の実施をお願いいたします。また、必要に応じて学内あるいは部局内の教育訓練（放射性同位体、X線、遺伝子組換え実験など）に参加するよう指導願います。

問い合わせ先

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 リーディングプログラム事務局

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理学研究院化学部門内（理学部7号館1-06室）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail: [leading@sci.hokudai.ac.jp](mailto:leading@sci.hokudai.ac.jp)　TEL: 011-706-3359